

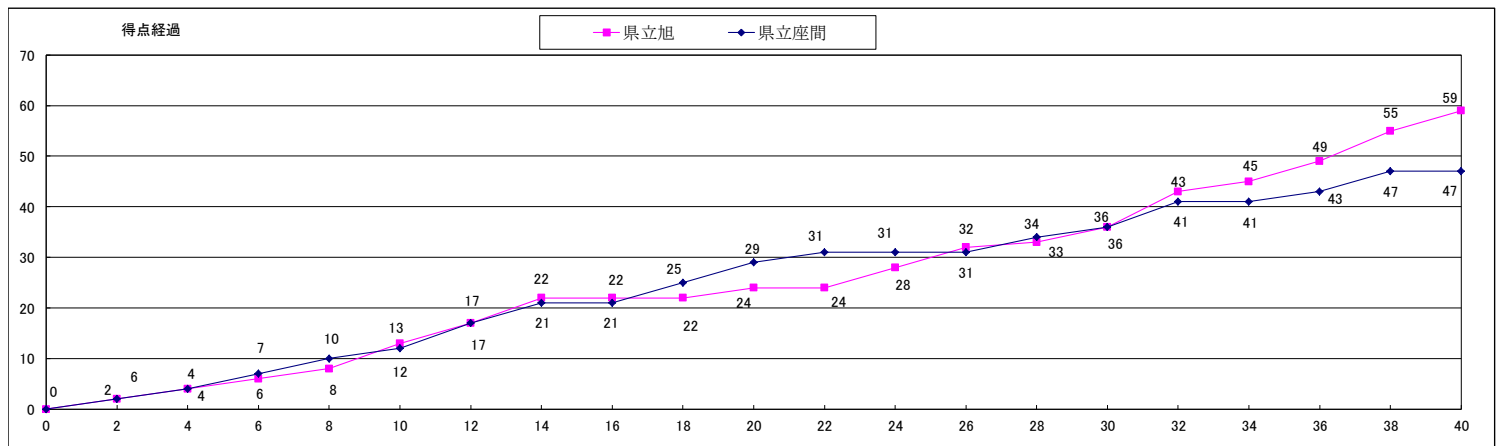
試合No.	A1	大会名	第72回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 兼 平成30年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会								
		期 日	2018年5月4日(金)		会 場	秦野市総合体育館					
女子3位決定戦	主 審	小坂井 郁子			副 審	渡部 伸一		浅見 好美			
	チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
	県立旭				13	11	12	23			59
	県立座間				12	17	7	11			47

県立旭

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
井上 絢音	4	2	0	2	0%	1	2	50%	0	0		1	0	2	1	0	0	2
澤飯 育美(CAP)*	5	17	0	0		8	11	73%	1	3	33%	0	2	0	0	0	0	1
佐々木 郁乃*	6	15	0	0		5	12	42%	5	6	83%	1	3	1	0	0	1	5
山端 美子*	7	3	0	0		1	4	25%	1	2	50%	1	8	0	0	0	0	0
井上 梨沙*	8	15	1	3	33%	5	9	56%	2	3	67%	3	2	1	3	0	2	1
中山 未来*	9	1	0	0		0	3	0%	1	2	50%	1	3	0	0	0	0	3
梶浦 千紜	10	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
浅井 あぐり	11	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	1	4	0	0	0	0
穴戸 あすか	12	0	0	3	0%	0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
中村 穂花	13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
小杉 一紗	14	2	0	0		0	1	0%	2	2	100%	0	0	0	0	0	0	0
梶谷 野乃佳	15																	
原 菜穂子	16	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	1	1	0	0	0	0
中村 芽衣那	17	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
瀬戸 穂乃奏	18	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
コーチ 講武 達雄																		
合計		59	1	8	13%	22	49	45%	12	18	67%	7	21	9	4	0	3	12

県立座間

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
幸嶋 里奈(CAP)*	4	10	0	0		4	9	44%	2	2	100%	3	5	0	0	0	1	2
佐藤 結菜*	5	11	3	13	23%	1	6	17%	0	0		1	4	3	0	1	1	4
日置 愛海*	6	5	1	7	14%	0	2	0%	2	3	67%	2	2	0	0	1	1	4
北澤 麻衣*	7	14	0	2	0%	6	17	35%	2	2	100%	3	7	4	2	0	0	5
境 美潮	8	2	0	1	0%	1	0		0	0		0	0	0	0	0	0	1
三村 七海	9																	
露木 涼	10	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	1
小泉 奈央	11	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	1
大島 蒼生	12	3	1	3	33%	0	1	0%	0	0		0	0	0	1	0	0	0
石井 愛美	13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
小山内 ソムティ 梨明	14	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
市川 真衣	15	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	1	0	0	1
尾村 佳那子	16																	
栗城 皆実*	17	2	0	4	0%	1	2	50%	0	0		1	0	0	1	0	0	2
庭野 萌花	18																	
コーチ 岡崎 朝夫																		
合計		47	5	31	16%	13	37	35%	6	7	86%	10	20	7	5	2	3	21



戦評

1P 旭は3-2ゾーン、座間はマンツーマンで始まる。座間はインサイドアウトから3pts、旭は外からのドライブと⑦のインサイドで攻めるが得点が伸びない。残り10秒、旭⑤のドライブで逆転し、13-12で旭がリード。

2P 旭はメンバーを入れ替え、ディフェンスもマンツーマンに変える。座間は⑦、④のインサイドを中心に、旭は⑤、⑧のドライブで得点し、両チームとも点の取り合いになる。終盤、旭のドライブに対してヘルプディフェンスが効いた座間が④、⑦の得点につなげ、29-24で座間がリードして前半を終了。

3P 旭は3-2ゾーンに戻して座間のオフェンスリズムを崩し、リバウンドから速攻が決まり30-31と1点差まで詰め寄る。さらに残り3分、座間のファウルを誘い⑨がフリースローを決め逆転に成功し、33-31とする。その後も僅差の攻防が続くが、残り7秒、座間⑤がジャンプシュートを決めて36-36の同点として第3ピリオド終了。

4P 旭は3-2ゾーンを継続。座間が攻めあぐむ中、旭はリバウンドから速攻が決まり、リードする。座間は⑤の3pts、④のインサイドで対抗するが、旭は主導権を譲らない。終盤まで攻撃の手を緩めなかった旭が59-47で3位となった。

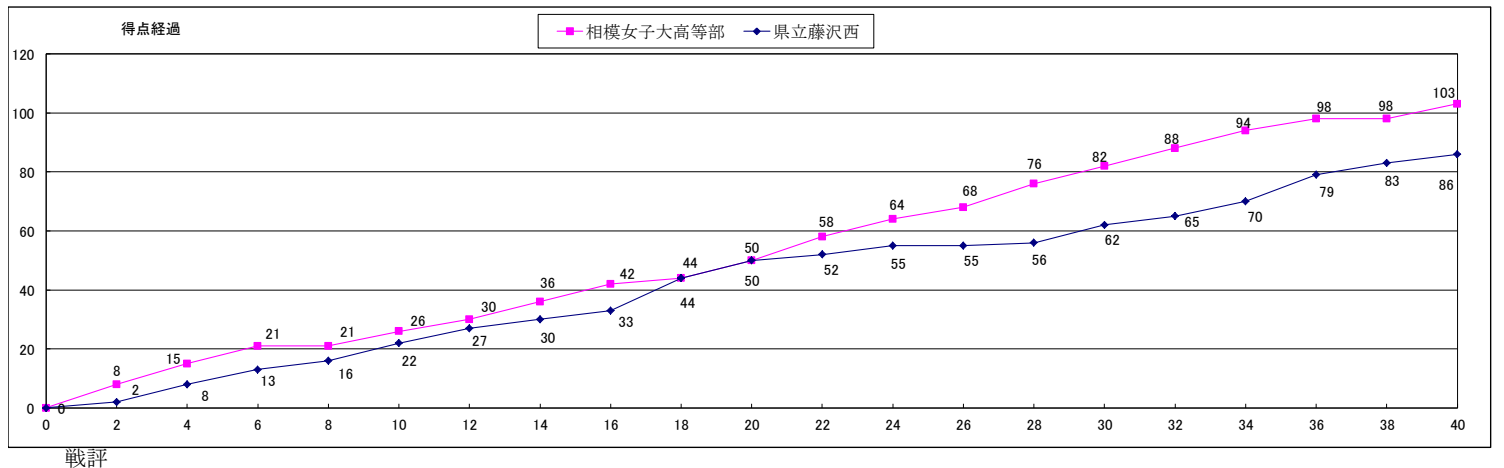
試合No.	B1	大会名	第72回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 兼 平成30年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会								
		期 日	2018年5月4日(金)			会 場	秦野市総合体育館				
女子7位決定戦		主 審	長谷川 裕			副 審	佐藤 優樹		松尾 梨紗		
		チーム名	1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計		
		相模女子大高等部	26	24	32	21			103		
		県立藤沢西	22	28	12	24			86		

相模女子大高等部

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
栗原 渡那(CAP)	* 4	25	0	0		11	16	69%	3	4	75%	2	6	4	3	0	4	0	
内田 樹更	* 5	26	0	0		12	18	67%	2	2	100%	2	6	2	1	0	1	2	
木下 芙美	* 6	14	0	0		7	12	58%	0	2	0%	1	0	1	1	0	1	2	
小倉 愛梨	7	6	1	4	25%	1	3	33%	1	2	50%	0	1	1	0	0	2	0	
池田 花音	8	8	0	1	0%	4	5	80%	0	0		3	7	3	0	2	4	4	
杉崎 奏美	9																		
大貫 若菜	10	2	0	1	0%	1	2	50%	0	0		1	0	0	1	0	0	1	
野口 陽菜	11																		
吉岡 さつき	12	0	0	0		0	2	0%	0	0		2	2	0	0	0	0	1	
丸尾 さくら	13	12	0	1	0%	6	10	60%	0	0		0	0	1	0	0	2	1	
八嶋 冴夏	14																		
中屋 終子	* 15	2	0	1	0%	1	8	13%	0	0		0	2	4	2	0	2	0	
岩村 菜々	* 16	8	0	0		3	8	38%	2	2	100%	2	2	3	1	0	0	4	
飯田 真帆	17																		
柏木 愛彩	18	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	1	0	0	2	0	
コーチ 本田 守	合計		103	1	8	13%	46	85	54%	8	12	67%	13	26	20	9	2	18	15

県立藤沢西

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
黒葛原 玲良	* 4	18	3	13	23%	2	6	33%	5	8	63%	2	2	1	1	0	0	3	
小林 遥	* 5	26	2	10	20%	7	21	33%	6	7	86%	4	4	3	0	0	0	3	
森川 渚	* 6	14	0	0		6	12	50%	2	2	100%	1	5	1	2	0	3	4	
大月 海風(CAP)	* 7	2	0	2	0%	1	2	50%	0	0		1	1	2	1	1	0	1	
禅院 里彩	* 8	12	2	3	67%	3	5	60%	0	0		0	1	1	0	0	4	0	
渡邊 瑠加	9	14	2	6	33%	2	11	18%	4	6	67%	0	3	1	1	0	1	0	
越水 里桜	10																		
長谷川 優奈	11																		
土屋 ちはる	12																		
神保 目花里	13																		
安藤 ひかる	14																		
宮澤 愛香	15																		
佐藤 絢夏	16																		
柳岡 ユキ	17																		
内島 紗弥	18																		
コーチ 川村 康之	合計		86	9	34	26%	21	57	37%	17	23	74%	8	16	9	5	1	8	11



1P 両チームマンツーマンディフェンスからスタート。相模女子大は開始早々④⑩⑬が連続で得点を重ね、さらに⑤が攻守のリバウンドで存在感を示し、リードを広げる。対する県立藤沢西は⑤を中心にドライブ、④⑧の3PTSなどで追いつける。26-22相模女子大リードで1P終了。

2P 2Pも両チームマンツーマンディフェンスでスタート。互いに速い攻守の切り替えで、主導権を争う。相模女子大はローポストを中心に、県立藤沢西はサイドからのドライブを中心に攻め立てる。残り4分で42-32と相模女子大がリード。相模女子大はチームファウルが重なり、県立藤沢西はフリースローを確実に決め、さらに⑤④の3PTSなどでついに同点に追いつく。50-50同点で2P終了。

3P 相模女子大は開始早々から④⑤⑬の連続得点などで試合の主導権を握る。開始3分45秒経過した時点で62-52とリードを広げ、県立藤沢西がタイムアウト。県立藤沢西は積極的に3PTSを打つも決まらず、逆に相模女子大がリバウンドからの速攻でリズムをつかみ、⑬④⑩⑤がインサイドで得点を重ねていく。残り2分36秒で74-55と相模女子大がリードを広げてタイムアウト。その後も相模女子大のペースで進み、82-62相模女子大リードで3P終了。

4P 開始早々、相模女子大は④⑤の連続得点で引き離し、その後も⑤⑧がインサイドで勝負強さを見せる。県立藤沢西は⑤が攻守に渡りインサイドで強さを発揮し、⑨の3PTSや⑥のドライブ、⑧3PTSで応戦する。5分経過のタイムアウトで相模女子大が98-75とリード。その後も盤石な試合運びをした相模女子大が103-87で勝利した。

試合No.	A2	大会名	第72回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 兼 平成30年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会							
		期 日	2018年5月4日(金)			会 場	秦野市総合体育館			
男子3位決定戦	主 審	茂泉 圭治			副 審	山岡 忠・関野 翔太				
	チーム名	1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計		
	アレセア湘南	14	19	12	16			61		
	法政大学第二	15	22	18	10			65		

アレセア湘南

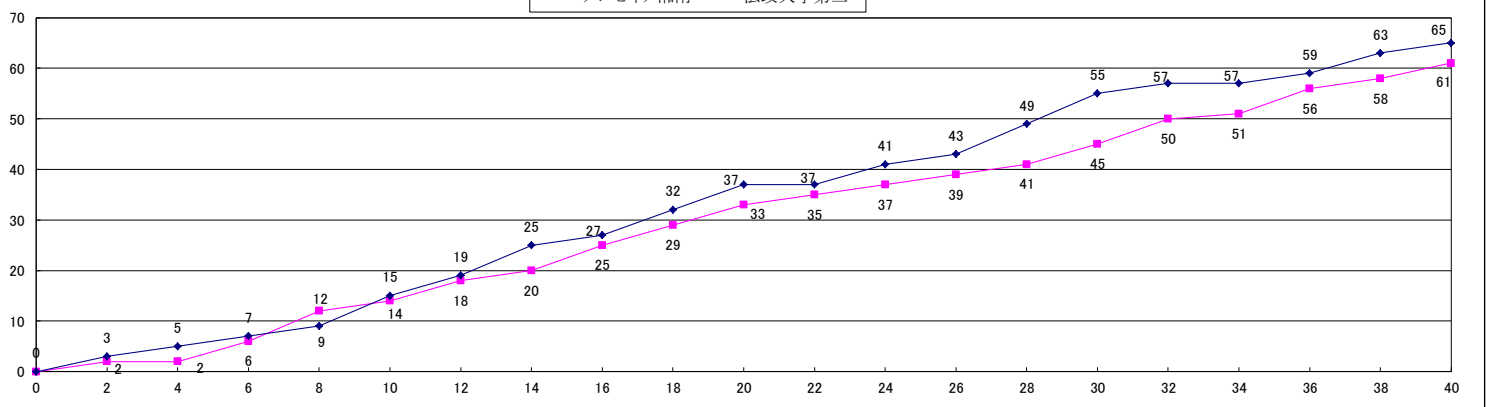
氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
望月 瑠星(CAP)	* 4	12	2	5	40%	1	7	14%	4	4	100%	0	3	0	1	1	1	1
豊田 智己	* 5	13	3	15	20%	2	7	29%	0	2	0%	0	4	1	1	0	3	4
井関 葵	* 6	7	0	2	0%	3	7	43%	1	5	20%	6	5	0	0	2	1	5
山口 大樹 ロイ	* 7	17	0	0		7	19	37%	3	3	100%	5	6	0	1	0	6	3
西森 鵬栄	* 8	0	0	4	0%	0	0		0	0		0	0	1	0	0	1	1
小林 寛大	9	8	0	0		3	7	43%	2	3	67%	8	3	1	4	0	2	2
村田 和基	10																	
山本 航己	11	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	0	2	0	0	0	2
吉田 佳希	12	4	0	0		2	3	67%	0	0		3	3	0	1	0	1	3
石田 主海都	13																	
堀 真之介	14																	
本多 海晴	15																	
門馬 昇汰	16																	
條木 爽	17																	
ページリアン 尚智	18																	
コーチ 堀 英樹																		0
合 計		61	5	26	19%	18	52	35%	10	17	59%	22	24	5	8	3	15	21

法政大学第二

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
今池 翔大	* 3	5	0	3	0%	1	7	14%	3	4	75%	0	0	1	0	0	0	2
田中 一真	5	7	0	1	0%	3	6	50%	1	2	50%	2	2	2	0	0	0	0
深澤 寿	8																	
高嶋 隆之介	* 9	4	0	4	4%	1	5	20%	2	5	40%	2	6	1	2	0	0	1
新藤 玄	10																	
坂本 祥平	12																	
高野 洋平(CAP)	* 14	7	0	1	0%	3	4	75%	1	2	50%	0	6	1	0	0	2	2
岩津 侑音	15																	
佐藤 悠真	* 17	10	1	6	17%	3	5	60%	1	1	100%	1	2	0	0	0	0	3
濱田 恒平	18	3	1	4	25%	0	1	0%	0	0		1	1	0	0	0	2	0
吉澤 凌雅	30	2	0	3	0%	1	4	25%	0	0		0	2	0	2	0	1	2
皆藤 太郎	* 31	8	0	0		3	6	50%	2	2	100%	2	1	0	0	0	0	4
波多野 碧人	35	8	1	4	25%	2	3	67%	1	1	100%	0	1	0	0	1	0	0
實方 亮	90	6	0	1	0%	1	2	50%	4	6	67%	3	0	0	1	2	0	1
武藤 一真	0	5	0	0		2	5	40%	1	2	50%	3	1	1	0	0	0	1
コーチ 鈴木 恭平																		0
合 計		65	3	27	11%	20	48	42%	16	25	64%	14	22	6	5	3	5	16

得点経過

▲アレセア湘南 ◆法政大学第二



戦評

1P アレセアはマンツーマン、法政二はゾーンディフェンスで始まる。お互いミスが目立ち得点につながらない。残り3分法政二はディフェンスをマンツーマンに変える。残り20秒法政二⑩のバスケットカウントを決めるも、アレセア湘南⑦が最後にシュートを決める。15-14で法政二がリードして1P終了。

2P お互いマンツーマンディフェンスでスタート。法政二は⑩のゴール下、⑩の速攻で得点する。対するアレセアは⑦のジャンプシュート、ドライブで得点する。互いに大きな流れを作れず、苦しい展開が続くが、終了間際に法政二⑤が3PTSを決め、37-33と法政二がリードして終了。

3P 2P同様お互いマンツーマンディフェンスでスタートする。スタートから中々得点に繋がらない苦しい時間が続く。アレセアは⑦の力強いゴール下で得点する。法政二は⑩のドライブで得点する。お互いにメンバーを変えながら、試合の流れを変えたい。残り1分法政二⑩の3ptsが決まり、最後法政二が流れを作り55-45と法政二がリードして終了。

4P お互いマンツーマンディフェンスでスタートする。今までより速い展開が多くなり、激しい攻防が続く。法政二は得点できない時間が続く。残り4分アレセア⑤の3ptsが決まり、59-56と3点差に縮める。残り2分法政二がフリースローを得た所で、アレセアタイムアウト。残り1分アレセア⑤の3ptsが決まり2点差に縮める。残り30秒法政二タイムアウトを取り、時間を使いフリースローを決め、65-61で法政二が勝利。

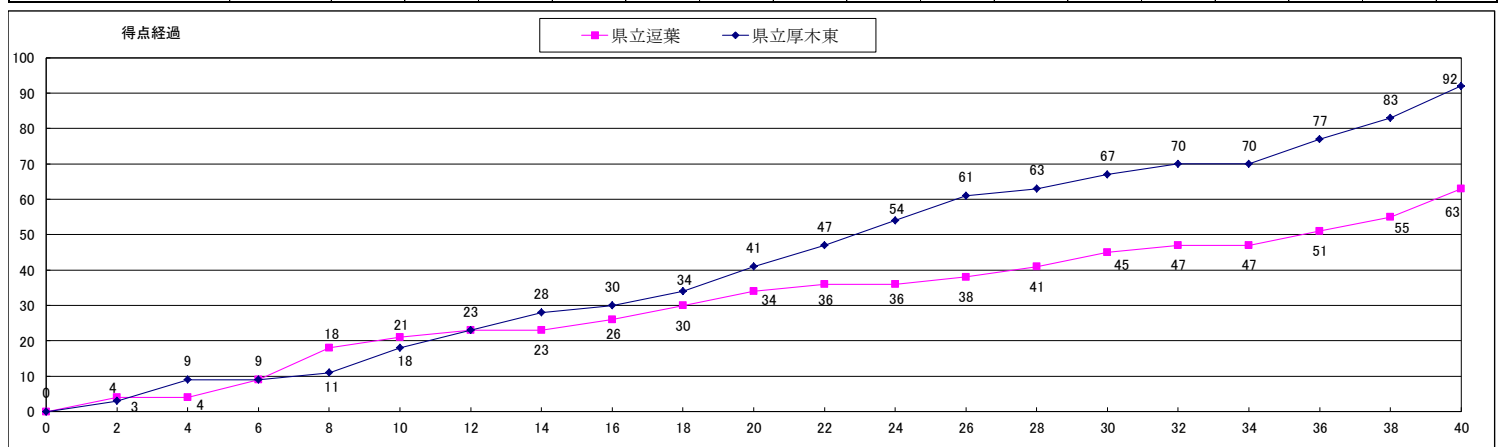
試合No.	B2	大会名	第72回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 兼 平成30年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会						
		期 日	2018年5月4日(金)			会 場	秦野市総合体育館		
男子5位決定戦	主 審	清水 幹治			副 審	廣瀬 俊昭・青木 太一			
	チーム名	1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計	
	県立厚木東	18	23	26	25			92	
	県立逗葉	21	13	11	18			63	

県立厚木東

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
吉田 烈	* 4	19	0	2	0%	8	13	62%	3	5	60%	6	5	2	2	1	3	2
高橋 浪磨	5	8	1	2	50%	1	5	20%	3	3	100%	2	3	0	1	0	0	1
齋藤 仙太	* 6	12	2	13	15%	3	5	60%	0	0		1	4	3	5	0	1	4
小宮 優大	* 7	26	1	5	20%	9	19	47%	5	5	100%	7	8	4	2	0	4	4
大野 航	* 8	12	1	8	13%	4	9	44%	1	3	33%	0	3	1	1	0	2	2
天宮 直之	9	9	0	2	0%	4	6	67%	1	2	50%	0	1	2	1	0	1	2
貞莉 陽大	10																	
吉田 楓	* 11	0	0	0	0%	0	2	0%	0	0		2	0	0	0	0	0	3
邊見 将太	12																	
長野 友紀	13																	
宮本 博人	14																	
山部 聖	15																	
藪下 輝紘	16																	
吉崎 涼雅	17																	
中島 智久	18	6	2	8	25%	0	1	0%	0	0		0	0	1	1	0	0	0
コーチ																		0
合 計		92	7	40	18%	29	60	48%	13	18	72%	18	24	13	13	1	11	18

県立逗葉

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
鈴木 陸斗	* 4	10	2	8	25%	1	5	20%	2	2	100%	0	4	3	1	0	3	0
宇都 啓介	* 5	22	0	0		10	24	42%	2	6	33%	5	3	0	1	0	2	4
芋田 優月	* 6	4	0	3	0%	0	8	0%	4	4	100%	0	3	2	1	0	6	3
松岡 夏月	* 7	2	0	3	0%	1	5	20%	0	2	0%	4	5	3	1	0	3	3
海藤 佑斗	8	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
柳沢 年由	9																	
大光 亮	10																	
小野 朋哉	11																	
古川 勇樹	12																	
五十棲 匠生	13																	
小谷田 貴	* 14	16	0	3	0%	8	14	57%	0	0		1	4	5	0	0	3	3
白井 源也	15	7	0	0		2	4	50%	3	4	75%	1	2	3	0	0	1	0
本間 将也	16																	
高野 杏介	17																	
渡辺 拓斗	18	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
コーチ																		0
合 計		63	2	18	11%	23	61	38%	11	18	61%	11	21	16	4	0	18	13



戦評

1P 逗葉は2-1-2のゾーンディフェンス、厚木東はオールコートからマンツーマンディフェンスからスタート。立ち上がり3分間、厚木東はアウトサイドシュートなかなか決まらないうえ、激しいディフェンスから少しずつリズムを掴みにいく。しかし逗葉のゾーンディフェンスの間合いからか3ptsの確率は上がってこない。対する逗葉は激しい相手のディフェンスに苦しみながらも④⑤の得点などを中心に加点し、21-18逗葉リードで1P終了。

2P 2Pも両チームのディフェンスは変わらない形でのスタート。少しずつゾーンに対して対応し始めた厚木東に対し、逗葉は少しずつ激しいディフェンスを受け、ミスが目立ち始める。逗葉は残り6分を残しタイムアウト後マンツーマンディフェンスにするがどちらのチームも完全には流れを掴みきれない。しかし、終盤に④の連続得点で加点した厚木東が41-34とリードし、2P終了。

3P 両チーム後半の立ち上がり、得点を成功させる。しかし、逗葉の攻撃がだんだんと苦しくなり始める。そこからコツコツと厚木東は得点を重ね、開始3分で14点のリードを作る。逗葉はたまたまタイムアウトを取り、流れを変えに行くが、厚木東の流れは止められない。タイムアウト後も激しいディフェンスから速攻と一気に突き放し、20点以上のリードを作る。その後はお互いに大きく得点が伸びず、67-45と厚木東リードで3P終了。

4P 最終ピリオドはお互いにおとなしい立ち上がりとなり、お互いに流れを掴み切れないうえ、両チームシュートミスが多い中で、開始4分で厚木東がタイムアウトを請求。その後は④⑦を中心に厚木東が点数を重ねる。逗葉も⑩の2ptsなどで対抗するが、要所で連続得点を重ねた厚木東が94-63と点差を広げ、勝利を取った。

試合No.	M1	大会名	第72回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 兼 平成30年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会						
		期 日	2018年5月4日(金)			会 場	秦野市総合体育館		
女子決勝戦	主 審	村上 恵美			副 審	中澤 美保子 佐々木 寛子			
	チーム名	1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計	
	アレセア湘南	23	26	27	19			95	
	鶴沼	14	15	13	19			61	

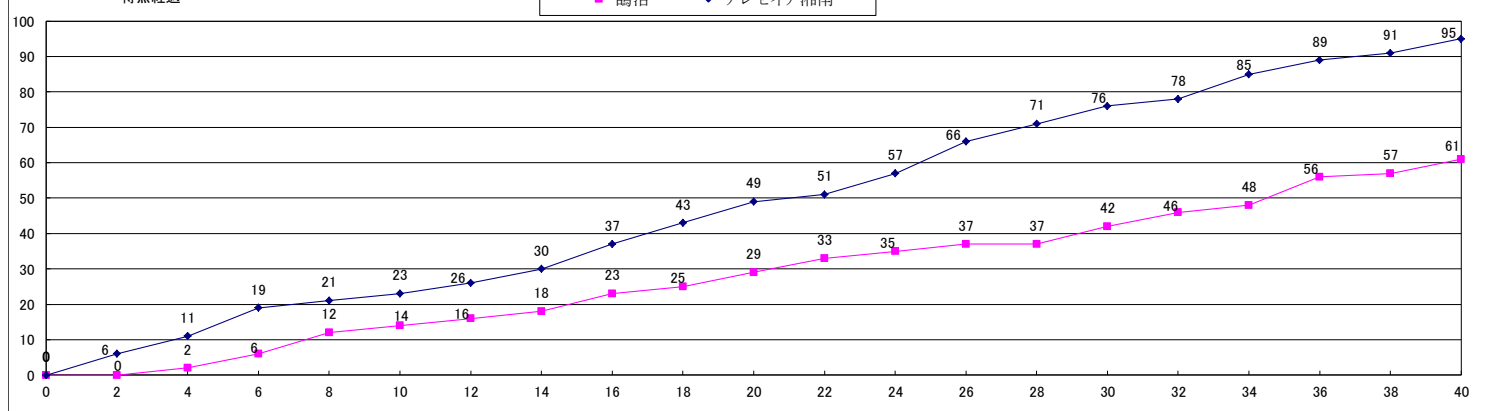
アレセア湘南

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
宮 優里奈(CAP)	* 2	42	4	6	67%	12	22	55%	6	8	75%	2	10	8	3	0	1	3
田川 玲実	3	2	0	2	0%	1	2	50%	0	0		0	1	1	0	0	0	1
山城 七海	5																	
西 実来乃	6	2	0	0		1	3	33%	0	0		0	1	1	0	0	0	0
熊谷 萌那	8	11	3	4	75%	1	5	20%	0	0		0	1	1	1	0	0	2
渡辺 菜緒	* 11	11	0	10	0%	5	7	71%	1	2	50%	3	2	2	4	1	0	1
富田 真桜	12																	
加藤 優花	14																	
古木 梨子	* 15	10	0	3	0%	4	9	44%	2	2	100%	2	5	18	4	0	1	0
寺林 陽菜	* 17	11	0	0		4	5	80%	3	4	75%	2	2	4	3	0	0	1
高杉 真央	* 25	6	2	2	100%	0	3	0%	0	0		1	2	4	3	0	0	4
植村 奈都子	72																	
コーチ 張 一																		0
合 計		95	9	27	33%	28	56	50%	12	16		10	24	39	18	1	2	12

鶴沼

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
相田 葉理(CAP)	* 4	2	0	6	0%	1	8	13%	0	0		2	6	9	1	0	1	1
平田 優翔	5	11	1	7	100%	3	7	43%	2	2	100%	1	2	4	0	0	1	2
加野 貴子	* 6	5	0	3	0%	2	4	50%	1	2	50%	1	1	1	0	0	0	2
田川 明日香	* 7	10	0	7	0%	5	9	56%	0	2	0%	0	4	1	2	0	1	4
比留川 絢香	8	4	0	0		1	3	33%	2	2	100%	0	0	3	0	0	0	2
細野 詩穂里	9	0	0	0		0	0		0	0		0	1	1	0	0	0	1
佐久間 りな美	* 10	5	1	5	20%	1	4	25%	0	2	0%	0	2	2	0	2	1	0
千木良 知春	11																	
天野 遥奈	* 12	13	0	4	0%	6	12	50%	1	1	100%	4	8	2	0	1	1	4
梅本 由唯	13																	
岸本 風香	14																	
小川 真奈	15	0	0	0		0	0		0	0		0	1	2	1	1	0	0
名和 未空	16																	
野坂 葵	17	11	1	2	50%	4	8	50%	0	0		0	0	2	0	0	0	2
岩切 ゆめの	18	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
コーチ 細木 美和子																		0
合 計		61	3	22	14%	23	55	42%	6	11	55%	8	25	27	4	4	5	18

得点経過



戦評

1P 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。アレセアはスクリーンを使って1対1を仕掛け得点する。鶴沼は果敢に攻めるがなかなか得点につながらない。アレセアは②や④の連続3ptsなどで徐々に引き離していく。鶴沼も⑩や⑤の3ptsなどで反撃するが、アレセアの優勢は変わらず23-14アレセアがリードで1P終了。

2P 鶴沼はチームでディフェンスを粘ってアレセアのミスを読み、リズムをつかもうとする。対するアレセアもオールコートマンツーマンでダブルチームを仕掛けてボールを奪い、ドライブで得点を重ねる。残り4分半、リズムをつかめない鶴沼がタイムアウト。その後、速い展開から巧みなパス回しで得点を重ねる。アレセアは②を中心に攻め、点差を広げていく。49-29アレセアがリードで前半を終了。

3P お互い変わらずマンツーマンディフェンスでスタート。鶴沼④のリバウンドシュートで先制するが、アレセアは中外とバランス良く攻めて鶴沼に反撃する隙を与えない。対する鶴沼はアレセアのプレッシャーにミスが続いてしまう。残り3分、鶴沼は⑩が連続で得点をして流れを変えようとする。しかしアレセアも⑧が連続でシュートを決める。激しい攻防が続き76-42アレセアがリードで3P終了。

4P アレセアはリバウンドを粘り、速い展開から②を中心に攻撃する。鶴沼は速いパス回しで相手を崩し、得点を重ねる。お互いに譲らず一進一退の攻防が続く。終始、攻守の手を緩めず、個々の能力の高さが光ったアレセアが95-61で優勝した。

試合No.	M2	大会名	第72回関東高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会 兼 平成30年度神奈川県高等学校春季バスケットボール大会								
		期 日	2018年5月4日(金)			会 場	秦野市総合体育館				
男子決勝戦	主 審	大庭 英裕			副 審	飯塚 貴行・本間 竜也					
	チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
	横浜清風				21	16	13	22			72
	桐光学園				28	28	22	24			102

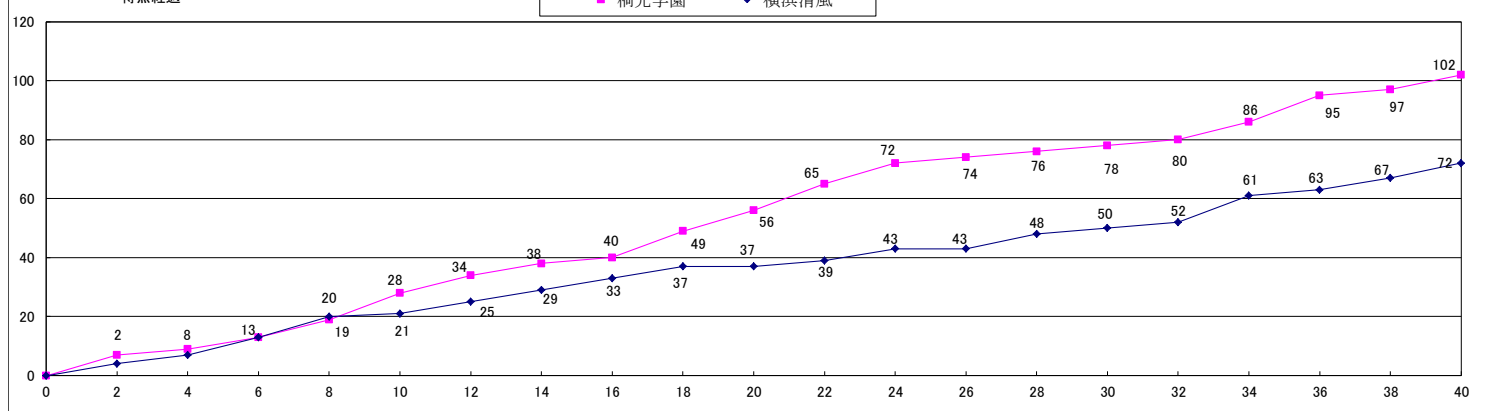
横浜清風

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
須藤 タイレル 拓	6	10	0	0		3	9	33%	4	4	100%	3	5	1	1	1	1	4
小野 優作	*10	2	0	0		1	4	25%	0	0		1	2	0	0	0	0	0
長谷川 研四郎	11																	
ワーリバリ ソロモン	13																	
西田 俊介	14																	
二宮 力	*15	2	0	0		1	7	14%	0	2	0%	1	4	4	4	0	1	2
高井 翔太	17																	
村井 和雅(CAP)	*18	12	0	10	0%	6	16	38%	0	1	0%	3	5	3	4	0	3	1
渡辺 マイルズ	21	0	0	0		0	1	0%	0	2	0%	1	0	0	0	0	0	0
戸田 健太	*22	18	0	2	0%	8	16	50%	2	2	100%	0	0	1	2	0	1	2
中村 峻輔	*23	19	5	21	24%	2	5	40%	0	0		0	2	1	0	0	1	0
谷口 颯	28																	
神 拳士郎	31																	
伊藤 港	45																	
金子 歩夢	00	9	0	0		4	7	57%	1	1	100%	1	2	0	0	0	0	3
コーチ 三宅 学																		0
合 計		72	5	33	15%	25	65	38%	7	12	58%	10	20	10	11	1	7	12

桐光学園

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
鈴木 悠斗(CAP)	*4	27	0	0		12	18	67%	3	3	100%	3	3	3	1	0	4	1
関根 隆慈	*5	14	4	10	40%	1	3	33%	0	0		0	3	3	0	0	2	1
鈴木 雄馬	*6	16	4	5	80%	2	6	33%	0	1	0%	2	5	5	3	0	0	1
鈴木 響希	*7	10	0	1	0%	5	10	50%	0	1	0%	0	11	3	0	0	2	1
吉田 敬陽	*8	9	0	0		4	8	50%	1	1	100%	3	5	4	1	1	3	4
川戸 渚	9	13	2	5	40%	3	7	43%	1	4	25%	2	0	0	2	0	2	1
橋本 恭典	10																	
長谷川 丈	11																	
進 翔太	12	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	1	1	0
萩原 康平	13	5	0	0		2	3	67%	1	2	50%	1	1	3	0	0	0	0
柏 奏太	14	0	0	1	0%	0	3	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
兪 龍海	15	4	0	0		2	4	50%	0	0		2	1	3	0	0	3	0
川上 裕樹	16	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	2	0
鍵谷 和輝	17	2	0	0		1	2	50%	0	0		2	3	0	0	2	2	0
佐藤 伶	18																	
コーチ 高橋 正幸																		0
合 計		102	10	22	45%	33	65	51%	6	12	50%	15	32	24	7	4	21	9

得点経過



戦評

1P 横浜清風はゾーン、桐光学園はマンツーマンディフェンスでスタート。横浜清風は②、⑧のアウトサイド中心、桐光学園は中外バランスよく得点していく。高さで勝る桐光学園はリバウンドを支配しゲームを有利に進める。横浜清風は②が連続3ptsを決め、⑧、⑩らも果敢にゴールヘアタックする。桐光学園は確実にゾーンの穴を攻めていき、⑦のミドルや⑩のゴール下で得点する。終盤、桐光学園⑥の3ptsも決まり、28-21桐光学園がリードで1P終了。

2P このピリオドも横浜清風は②のドライブや⑩の1対1で得点をしていく。桐光学園はリバウンドからブレイクを繰り出し、簡単に得点をしていく。ゴール下でパワープレーヤーやリバウンドを確実に生かし、残り3分桐光学園⑧がバスケットカウントを決め得点差は12点に広がる。その後、得点を重ねたい横浜清風だが、アウトサイドシュートが入らず逆に桐光学園に点差を広げられ、56-37桐光学園がリードで前半を終了。

3P 開始早々桐光学園がブレイクから得点を重ね横浜清風はたまたまタイムアウト。リズムを取り戻したい横浜清風はアウトサイドからの1対1を仕掛けるもリングに嫌われ得点できない。終盤、横浜清風は⑥が1対1で得点し、⑧がそこに続くが桐光学園は④が落ち着いて得点を返す。78-50で桐光学園がリードで3P終了。

4P 後のない横浜清風は②の3ptsがようやく決まりディフェンスでもプレッシャーをかけ、⑥のゴール下で勢いに乗る。桐光学園は⑦が落ち着いてミドルを決める。その後も桐光学園は⑤の3ptsや⑩のリバウンドシュートなどで点差を広げる。横浜清風は⑥が身体能力を活かし積極的にトライするが桐光学園はその手を緩めず、個々の力を存分に発揮した桐光学園が102-72で優勝した。